拝啓 寒冷厳しい折のお手紙をいただいて、ありがとうございました。私は昨年の営業から因業営業係血反1号初お見したそをは上が兄、下が37で、これは三金のほとりではないかとおどろきました。計器を文学芸術健保かくれたタケダメディカルのデジタル計器で。下の方は当てはまらないか。上は大体の値と思っています。今は大分よくなりましたが。天候によるか。上限が高くなることがちょいちょいあります。今月の「国書」の連載を読んでくださったよく書けていた。川端。岩島の金場する場面以外。千。各方面の松本かおりを回復に。主人公の身辺に深みが清風が感得されて、それぞれ芸術院会員の芸と(正直)思いながら、苦心書き書けなかったのもそのせい。時々ちるのでしょう。まら続くでいます。